

越谷市地域クラブ活動推進計画

令和7年3月
越谷市教育委員会

=目次=

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
------------------------------	---

I 本市の現状と学校部活動の地域クラブ活動推進の必要性

1 活動の現状・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2 部活動地域移行に関するアンケート調査・・・・・・・・	4
3 学校部活動の地域クラブ活動推進の必要性について・・・・	7

II 推進計画

1 計画の位置付け・・・・・・・・	12
2 計画期間・・・・・・・・	12
3 越谷市における地域スポーツ・文化芸術環境の方針・・・・	12
4 見込まれる効果・・・・・・・・	13
5 越谷市における地域クラブ活動推進の見通しについて・・・・	14

III 地域クラブ活動推進に向けた市の取組

1 関係者間の連携体制の構築等・・・・・・・・	16
2 関係団体等との連携・・・・・・・・	16
3 市民・関係者等の理解促進・・・・・・・・	16
4 指導者の質の保障と量の確保・・・・・・・・	17
5 教師等の兼職兼業・・・・・・・・	17

はじめに

国では、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月スポーツ庁、文化庁。以下「国のガイドライン」という。）」を通知し、少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに学校部活動改革に取り組む必要があることや、その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった学校部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要であると示されました。また、国のガイドラインでは、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて、休日における地域の環境整備を着実に推進することが示されています。

これを受け、埼玉県では教育委員会が設置する、教育局及び知事部局の関係部署、地域スポーツ・文化芸術団体、学校及び保護者等の関係者からなる協議会において、定期的・恒常的な情報共有・連絡調整を通して連携体制を構築するとともに、関係者からの意見や市町村を通じた生徒等へのアンケートなどを活用し、関係者間で緊密に連携して地域クラブ活動の推進に取り組むものとされています。

本市では、学校部活動の地域移行についての具体的な検討を行うための事務局として、令和4年8月に越谷市中学校部活動地域移行検討会を立ち上げました。また、令和5年12月には、越谷市中学校部活動地域移行推進会議（以下、「推進会議」という。）を設置しました。推進会議では、教育委員会や市長部局の連携はもとより、地域の声を聴いたり、関係諸機関との連携を図るなど、本市の学校部活動をどのように進めていくかという方針を定めていく役割を担うものとして位置づけております。

さらに、埼玉県では、「埼玉県地域クラブ活動推進計画（令和6年3月埼玉県。以下「県の推進計画」という。）」を策定し、計画策定の背景、推進計画、地域クラブ活動の推進に向けた県の取組といった内容が示されています。

本市といたしましても、学校部活動の現状やアンケート等の結果を基に、今後の地域クラブ活動における方向性について定めるため、県の推進計画に基づき「越谷市地域クラブ活動推進計画」を策定いたします。本市の子どもたちの学校部活動が有意義で充実したものになるよう、学校と地域が課題を共有しつつ、連携・協働し、休日の部活動について円滑に移行できるよう、市長部局と連携して環境整備を推進してまいります。

I 本市の現状と学校部活動の地域クラブ活動推進の必要性

1 活動の現状（令和6年度現在）

- 市内15中学校 生徒数8,386名(令和6年5月1日時点)
- 学校部活動加入数及び加入率 7,517名 89.6%
- 中学校学習指導要領総則の学校教育における部活動の位置付けに基づいて実施。
- 休養日として平日（課業日）は少なくとも週1日を休養日とする。週末（土曜日、日曜日、祝日等）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で2日以上活動した場合、大会終了後の平日又は休日を休養日として振替える。
- 活動時間については、平日（課業日）は2時間程度とする。授業時間が半日の場合、原則として3時間程度とする。朝練習については原則として行わないが、学校の実態を踏まえ、最終的には校長の判断とする。週末（土曜日、日曜日、祝日等）は原則として3時間程度とする。（越谷市立中学校における学校部活動ガイドライン(令和6年11月改定)より）
- 運動部全21種目 文化部全12種目 総部活数266（令和7年度新中学1年生用「越谷の中学校」より）

【運動部活動】

柔道／剣道／男子卓球／女子卓球／男子バスケ／女子バスケ／男子バレー／女子バレー／男子ソフトテニス／女子ソフトテニス／男子硬式テニス／女子硬式テニス／野球／サッカー／陸上／ソフトボール／男子バドミントン／女子バドミントン／男子水泳／女子水泳／ハンドボール

【文化部活動】

伝統文化等／コンピュータ／科学等／手芸等／吹奏楽等／美術等／総合学習／囲碁・将棋／演劇／英語部／書道／園芸

- 学校部活動指導員 全2種目 3名 3校に配置
- 学校部活動外部指導者 全16種目 49名 13校に配置
- 日本伝統文化外部指導者 茶道15名 華道7名 箏曲13名 15校に配置

2 部活動地域移行に関するアンケート調査

(1) 概要

越谷市教育委員会では、部活動に係る現状とニーズを把握し、今後の方向性を検討するため、令和5年9月にアンケート調査を実施しました。調査結果は以下のとおりです。

所 属	回 答 者
小学5・6年生	5, 103人
中学1・2年生	4, 521人
小学5・6年生保護者	2, 442人
中学1・2年生保護者	2, 679人
中学校教員	305人

(2) 回答結果（一部抜粋）

主な回答結果は以下のとおりです。

【小学5・6年生】

- 現在、学校以外でスポーツ活動や文化活動を行っていますか。
はい 67% いいえ 33%
- その活動は、いつ行っていますか。
平日 34% 休日 19% 平日も休日も 48%
- 平日は、どれくらいの日数、活動していますか。
週1日 57% 週2～3 37% 週4～5 6%
- 自分がやってみたい活動が中学校の部活動にない場合、地域クラブ活動等の活動があればやってみたいと思いますか。
そう思う 33% どちらかといえばそう思う 23%
どちらかといえばそう思わない 7% そう思わない 10%
まだわからない 26%

【小学5・6年生保護者】

- 学校部活動を地域クラブ等が担うことについて、あなたの考えをお聞かせください。
賛成 34% どちらかという賛成 32%
どちらかという反対 7% 反対 2%
わからない 25%
- 中学校の部活動が平日のみとなった場合、休日にお子さんを地域クラブ等の活動に参加させたいと思いますか。
参加させたい 19% 参加させたくない 8%
わからない(子どもの希望に任せる) 73%

3 中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて、心配することはありますか(複数回答可)。

活動場所までの送迎の負担 1,638名

生徒と指導者との人間関係 1,089名

活動時間(練習時間が長い等) 955名

4 休日の地域クラブ活動等で活動にかかる経費(月謝)はどの程度が妥当だと思いますか。

1,000円以内 6% 1,001円以上3,000円以内 31%

3,001円以上5,000円以内 34% 5,001円以上10,000円以内 27%

10,001以上 2%

【中学1・2年生】

1 現在の所属について選択してください。

学校部活動 85%

地域クラブ 3%

両方 9%

所属していない 3%

2 部活動の活動状況について教えてください。

平日のみ 21%

平日・休日の両方 79%

3 現在の部活動(学校部活動)に満足していますか。

満足している 60%

どちらかといえば満足している 31%

どちらかといえば満足していない 7%

満足していない 3%

4 部活動は、学校の先生に教えてほしいと思いますか。

そう思う 38%

どちらかというと思う 26%

どちらかというと思わない 9%

そう思わない 6%

わからない 21%

【中学1・2年生保護者】

1 毎月の部費はどのくらいですか。

1,000円以内 74%

1,001円以上3,000円以内 19%

3,001円以上 5,000円以内 4%

5,001円以上10,000円以内 3%

2 保護者としてお子さんの部活動に満足していますか。

満足している 42%

どちらかといえば満足している 41%

どちらかといえば満足していない 13%

満足していない 4%

3 部活動の指導は学校の教員が行うべきだと思いますか。

そう思う 6%

どちらかといえばそう思う 25%

どちらかといえばそう思わない 28%

そう思わない 22%

わからない 19%

4 中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて、あなたの考えをお聞かせください。

賛成 25%

どちらかという賛成 39%

どちらかという反対 10%

反対 2%

わからない 24%

【教員】

1 指導の状況について教えてください。

平日のみ 15% 休日のみ 1% 平日・休日の両方 84%

2 部活動の指導に負担を感じていますか。

はい 69%（主な負担に感じる事（複数回答可）として「校務が忙しく指導ができない」「教材研究の妨げになっている」「専門的な指導ができない」） いいえ 31%

3 学校部活動を地域クラブ等が担うことについて、あなたの考えをお聞かせください。

賛成 49%

どちらかという賛成 36%

どちらかという反対 12%

反対 3%

4 学校部活動を地域クラブ等が担うことになった場合、地域の指導者として関わりたい（兼職・兼業）と考えますか。

はい 23% いいえ 77%

(3) アンケート調査結果

以下のQRコードより越谷市ホームページに接続し、完全版・概要版を御覧ください。

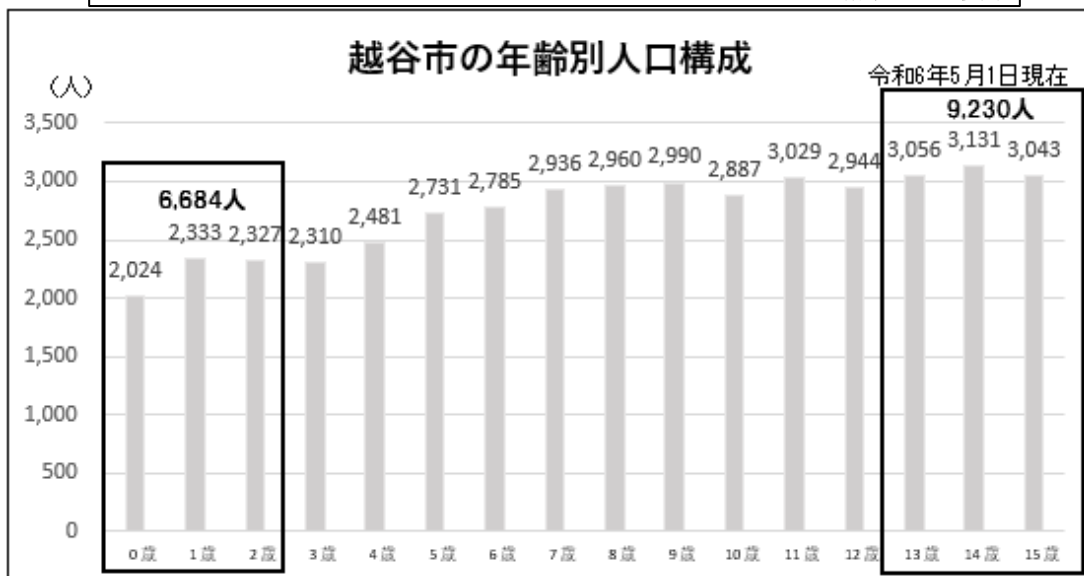
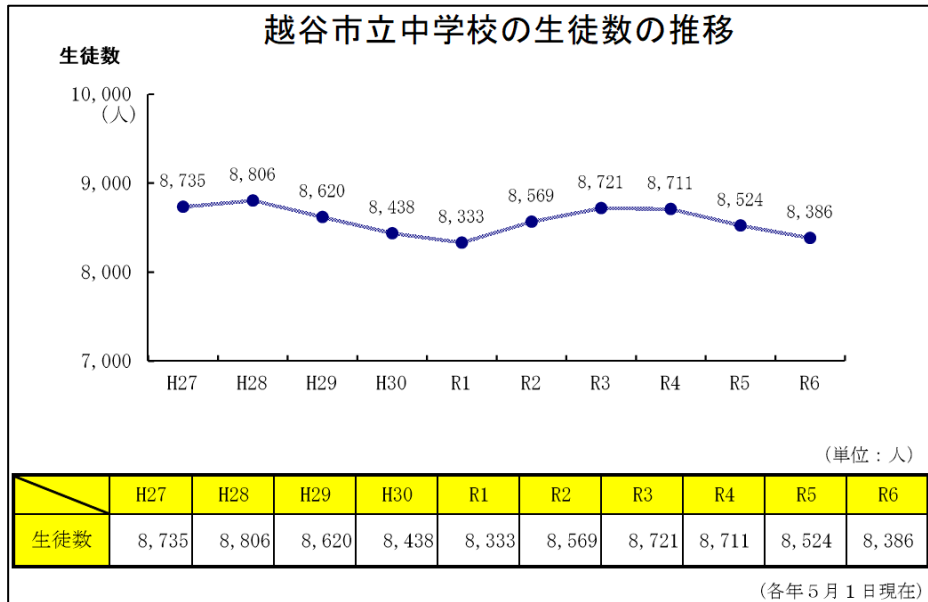


3 学校部活動の地域クラブ活動推進の必要性について

これまで学校教育の一環として行われてきた学校部活動を取り巻く環境は、進展する少子化や学校の働き方改革の推進を背景に大きく変化しています。そのような中、10年、20年先を見据え生徒が将来にわたりスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を実現するために、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として、新たに地域クラブ活動を整備する必要があると県の推進計画で示されています。

(1) 進展する少子化

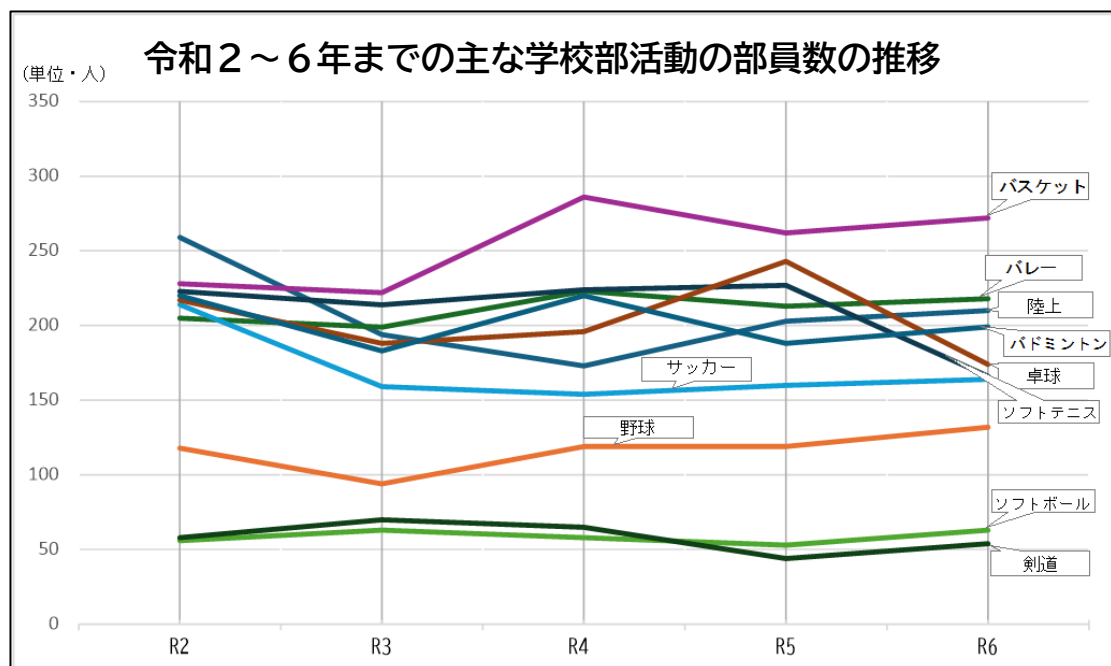
進展する少子化の側面において、本市では越谷市立中学校の生徒数の推移に見られるように、平成27年から令和6年にかけて生徒数は349人減少しています。さらに、越谷市の年齢別人口構成を見ると、13～15歳の人口が9,230人であることにに対し、0～2歳の人口が6,684人と大幅に少なくなっており、今後もさらに少子化が進展し、生徒数が減少していくことが予想されます。



生徒数が減った学校では、多人数で行う団体競技といった種目の活動が難しくなることや、学校規模の縮小により、学校部活動の顧問の配置ができなくなるなどの問題も生じてくる可能性があります。学校によって活動したい学校部活動がなかったり、専門的な指導が受けられなかったりするなど、生徒たちを取り巻くスポーツ・文化芸術活動における環境が学校内で整わない状況が生じつつあります。

先の越谷市の年齢別人口構成における13～15歳の人口と0～2歳の人口の差から、13年後の生徒数が約25%減少すると仮定した場合、現在ある266部の学校部活動が200部を割り込む計算となりますが、一方で、本市の令和2～6年までの主な学校部活動の部員数の推移をみると、概ね横ばいであり、前記の二つのグラフと合わせて考察しても、早期に各学校の学校部活動の状況を明確にすることができず、今後数年単位では大きな変化が必ずしもあるとは一概にはいえません。したがって、各学校の地域的な特性から部員数の増減は当然あるものの、本市全体を総じて見たときに、現段階においては大きな変化は見られないことが考えられます。また、どの部が残り、どの部がなくなるといったことについても具体的に示すことは困難です。

しかしながら、今後の更なる少子化の進展に伴い、生徒数が減少することで、学校部活動顧問の配置人数の減少や生徒が望む学校部活動がない・専門的な指導が受けられないといった課題に対応していく必要があります。このため、学校部活動の形にとらわれない、地域や関係団体等を含めた持続可能な新たな枠組みでの体制の構築が必要となっています。



(2) 学校の働き方改革

学校部活動は、これまで学校教育活動の一環として行われてきましたが、教師の長時間労働が課題となっており、働き方の改革が求められています。特に学校部活動については「教師の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因であることや、特に指導経験がない教師には多大な負担となっている」（「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」令和2年9月文部科学省）と指摘されています。

越谷市教育委員会が令和6年3月に行った調査では、市立中学校においては、近年各学校で進められている働き方改革によって、時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の割合は減少傾向にあります。しかし、年間360時間を超える教職員の割合は減少傾向にあるものの、直近の調査である令和5年度においては50%強であり、依然として高い割合となっています。

また、学校の状況によっては教師の希望や専門性の有無に関わらず、部活動顧問を担う必要が生じるなど、特に指導経験がない種目の学校部活動の担当を命じられた教師にとって大きな負担となっているケースもあり、改善が必要となっています。

越谷市立中学校における時間外在校等時間が月45時間及び月80時間
年360時間を超える教職員の割合

	月45時間超の割合			月80時間超の割合			年間360時間超 の 割合
	6月	11月	3月	6月	11月	3月	
令和4年度	60.0%	40.7%	36.0%	7.4%	2.7%	1.9%	62.1%
令和5年度	51.7%	27.6%	24.0%	6.0%	1.4%	1.0%	56.3%

※「時間外在校等時間」とは、在校等時間から正規の勤務時間を除いた時間

(3) 部活動地域移行に関するアンケート調査の分析から

① 地域クラブ活動に期待すること

中学生のアンケートの回答から、「専門的な指導が受けられる」ことが最も多く、また、「自分のレベルに合った活動を求めている」ことから、その結果より質の高い指導や、きめ細かで丁寧な指導を受けられる環境を整える必要があります。

中学校の部活動を地域クラブ等が担うことについて期待することはありますか？【中学１・２年生】

学校部活動にはない新たな種目の活動の実施 ９％

子供が希望する種目の活動の継続 １２％ 他校の生徒との交流 ９％

多世代の地域住民との交流 ５％

子どものレベルにあった活動の実施 ９％

専門的な指導が受けられること １８％ 技術力の向上 １２％

設備の整った場所で練習できること ９％

教員の負担軽減につながる １６％ 特になし ２％

その他 ０．４％

② 休日の地域クラブ活動の参加について

小・中学校の保護者のアンケートの回答から、どちらも保護者の傾向は変わらず、「参加させたい」が約２０％、「参加させたくない」が約８％、「わからない（子どもの希望に任せる）」が約７３％でした。今後は、市としても休日の地域クラブ活動について積極的に情報を発信する必要があります。

中学校の部活動が平日のみとなった場合、休日にお子さんを地域クラブ等の活動に参加させたいと思いますか。

【小学５・６年生保護者】

参加させたい １９％

参加させたくない ８％

わからない(子どもの希望に任せる) ７３％

【中学１・２年生保護者】

参加させたい ２０％

参加させたくない ８％

わからない(子どもの希望に任せる) ７２％

③ 受益者負担について

休日の地域クラブ活動等に係る経費に関する回答は、小学5・6年生保護者では「3,001円以上～5,000円以内」が34%で最も多く、中学1・2年生保護者では「1,001円以上3,000円以内」が39%で最も多い回答がありました。保護者が経費の負担について不安に感じているということについても推察することができます。

休日の地域クラブ活動等で活動にかかる経費（月謝）はどの程度が妥当だと思いますか？

【小学5・6年生保護者】

1,000円以内 6%	1,001円以上3,000円以内 31%
3,001円以上5,000円以内 34%	5,001円以上10,000円以内 27%
10,001円以上 2%	

【中学1・2年生保護者】

1,000円以内 13%	1,001円以上3,000円以内 39%
3,001円以上5,000円以内 30%	5,001円以上10,000円以内 17%
10,001円以上 1%	

④ 教師の負担軽減について

「負担を感じている」と回答した教師の割合は69%となっています。学校部活動を地域クラブ等が担うことになった場合に地域の指導者として関わりたいと回答した教師の割合は23%であり、必ずしも教師が地域クラブ活動に関与する意向が強いとはいえないと考えられます。従って、教師が地域クラブ活動に携わらなくても運営できるような体制や環境を整える必要があります。

部活動の指導に負担を感じていますか。【教員】

はい 69%（主な負担に感じる事（複数回答可）として「校務が忙しく指導ができない」「教材研究の妨げになっている」「専門的な指導ができない」） いいえ 31%

学校部活動を地域クラブ等が担うことになった場合、地域の指導者として関わりたい（兼職・兼業）と考えますか。【教員】

はい 23% いいえ 77%

II 推進計画

1 計画の位置付け

本計画は、国のガイドラインにおいて、県の推進計画の策定等により、休日の部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めると示されたことを受けて策定した越谷市教育委員会の取組を定める計画です。

本市では、国のガイドラインや県の推進計画を踏まえ本計画を策定し、市内公立中学校の休日の学校部活動の地域クラブ活動を推進してまいります。

2 計画期間

国は、令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」と位置付け、埼玉県は、県の推進計画の計画期間中、Ⅲに掲げる地域クラブ活動の推進に向けた取組を実施するものとされています。本市としても県の推進計画に則って取組を進めてまいります。

また、県の推進計画に合わせ本市としても、令和7年度から令和8年度までを計画期間とし、計画期間終了後の令和8年度以降において、学校部活動の地域クラブ活動推進に向けた環境整備に係る進捗状況等を評価分析し、継続して地域クラブ活動推進計画を実行してまいります。

越谷市地域クラブ活動推進計画については、国や県の動向、また、市の状況等の変化を鑑みて、必要に応じて柔軟に改定を行うこととします。

3 越谷市における地域スポーツ・文化芸術環境の方針

国は、公立中学校において学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により、生徒のスポーツ・文化芸術活動の場として、新たに地域クラブ活動を整備する必要があるとしています。さらに、地域クラブ活動は学校の教育外活動として「社会教育」の一環として捉え、スポーツ基本法や文化芸術基本法における「スポーツ」「文化芸術」として位置付けられるものでもあるとの見解が示されました。埼玉県では、「埼玉県スポーツ推進計画」及び「埼玉県文化芸術振興計画」を策定し、様々な施策を推進しています。

越谷市教育委員会においても、「いきいきとだれもが夢に向かって輝く越谷教育プラン―第3期越谷市教育振興基本計画―」を策定し、学校教育をはじめ、生涯学習、生涯スポーツに関する様々な施策を推進しています。

具体的には、スポーツについては、「生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる」を基本目標に、いつでも・どこでも・だれもが生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、自分らしく、いきいきとした、豊かな生活を送れるよう環境整備を図っています。また、生涯学習については、「生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する」を基本目標に、子どもから高齢者まであらゆる世代の生涯にわたる学びの機会を充実させるとともに、文化や芸術に接する機会をつくるなど、豊かな学習環境を整え、地域文化の振興に努めています。

地域クラブ活動を推進するに当たっては、これらの計画の方向性や取組との関連性を踏まえながら、総合的に取り組むことが必要となります。引き続き、越谷市教育振興基本計画の着実な実施に努め、生徒が自分に合ったスポーツ・文化芸術に親しむ機会が確保されるよう地域における更なる環境の充実を推進してまいります。

4 見込まれる効果

地域クラブ活動の推進は、生徒が生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しむ機会を確保し、生徒の心身の健全育成等を図るためだけでなく、地域の実情に応じた推進により、地域住民にとってもより良い地域スポーツ・文化芸術環境となることを目指すものであり、生徒自身や地域社会に対する効果が期待されます。

(1) 生徒に対して見込まれる効果

- 学校部活動にはなかった競技や活動に取り組むことができるようになる。
- 人数が集まらず学校部活動では組めなかったチームが組めるようになる。
- 中学校入学前から在学中、卒業後も活動を継続できるなど、生涯にわたるスポーツ・文化芸術に親しむ機会の確保につながる。
- 地域における多様な経験や学びにより、心身の健全育成につながる。

(2) 地域社会に対して見込まれる効果

- 地域における様々な活動が多世代交流の中で行われることで、地域の各種団体等の活動が活性化するとともに、地域のスポーツ・文化芸術環境の充実につながる。
- 地域クラブ活動を通じて成長した生徒が、次世代の地域クラブ活動の担い手となるなど人材の好循環が生まれる。
- 地域住民が生涯を通じて気軽にスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の充実につながる。

(県の推進計画より)

5 越谷市における地域クラブ活動推進の見通しについて

(1) 令和7年度以降の見通し

○市内中学校へ学校部活動の現状等のヒアリングを行い、本市の部活動地域連携・地域移行における情報共有・連携を図る。

○部活動指導員増員・適正配置に向けて市長部局と連携を図る。

○越谷アルファーズのモデル事業実施地区拡大を目指す。

○地域移行推進会議において各団体等との情報共有・連携を図る。

○市の体育協会等との連携により、部活動地域移行のモデル事業実施種目拡大を目指す。

※令和6年度より、越谷市剣道連盟、越谷市陸上競技協会と連携しモデル事業を実施予定。現状や効果等を鑑みながら検討していく。

○市の文化連盟との連携により、文化部における地域クラブ活動推進についての検討を継続していく。

○休日の学校部活動の運営を担う民間団体における部活動支援事業の実施に向けて市長部局と連携を図るとともに、民間団体における部活動支援事業（モデル事業）を開始する。

※モデル事業を推進していきながら、学校数及び部活動数の拡大を目指す。

○県内の大学と大学生の指導者派遣に係る協議等を積極的に行い、部活動指導員や部活動外部指導者の確保につなげていくことを目指す。

(2) 今後に向けて

今後については、国や県の動向を注視し、他自治体とも情報共有・連携を図りながら学校部活動の地域連携・地域移行を推進してまいります。また、国や県の通達等による状況の変化に対して、本市の地域クラブ活動推進計画がよりよいものとなるよう随時改定を行ってまいります。

(3) 市立中学校における学校部活動の地域クラブ活動推進の現状と方向性

	部活動名	部数	市立中学校における学校部活動の地域クラブ活動推進の現状と方向性
運動部	柔道	4	未定
	剣道	11	令和6年度より、越谷市剣道連盟と地域クラブ活動推進に向けて、具体的な協力体制について協議・検討を行った。令和7年2月、3月市内中学校合同稽古会を地域スポーツセンターにて実施予定。令和7年度についても具体的な地域クラブ活動推進に向けて、継続的に協議・検討を行う。
	男子卓球	13	令和6年度、越谷市卓球連盟と地域クラブ活動推進に向けて協議・検討を行う。令和7年度についても地域クラブ活動推進に向けて継続的に協議・検討を行う。
	女子卓球	11	令和6年度、越谷市卓球連盟と地域クラブ活動推進に向けて協議・検討を行う。令和7年度についても地域クラブ活動推進に向けて、継続的に協議・検討を行う。
	男子バスケ	15	令和5年度、越谷アルファーズ部活動支援モデル事業を開始。（全6回）令和5年度は北部の北中、北陽中、平方中、新栄中で実施。令和6年度は北部に加えて西部の西中、大袋中、千間台中も実施。（全10回）令和7年度についても地域クラブ活動推進について実施回数や対象地区を増やすなど継続的に協議・検討を行う。
	女子バスケ	15	令和5年度、越谷アルファーズ部活動支援モデル事業を開始。（全6回）令和5年度は北部の北中、北陽中、平方中、新栄中で実施。令和6年度は北部に加えて西部の西中、大袋中、千間台中も実施。（全10回）令和7年度についても地域クラブ活動推進について実施回数や対象地区を増やすなど継続的に協議・検討を行う。
	男子バレー	8	未定
	女子バレー	13	未定
	男子ソフトテニス	8	未定
	女子ソフトテニス	12	未定
	男子硬式テニス	3	未定
	女子硬式テニス	2	未定
	野球	15	アンケートの結果より、他の学校部活動より顧問を希望する教員が多いため、現段階では兼職兼業の方向で考えていく。
	サッカー	15	アンケートの結果より、他の学校部活動より顧問を希望する教員が多いため、現段階では兼職兼業の方向で考えていく。
	陸上	11	令和6年度より、越谷市陸上競技協会と地域クラブ活動推進に向けて、具体的な協力体制について協議・検討を行った。また、令和6年度に越谷市陸上競技協会が実施している部活動地域移行化練習会を、令和7年1月以降もしらこばと陸上競技場にて実施予定。さらに、令和7年度についても、越谷市陸上競技協会と具体的な地域クラブ活動推進に向けて、継続的に協議・検討を行う。
	ソフトボール	12	未定
	男子バドミントン	8	令和7年度以降、バドミントン連盟と地域クラブ活動推進に向けて協議・検討を行う。
	女子バドミントン	12	令和7年度以降、バドミントン連盟と地域クラブ活動推進に向けて協議・検討を行う。
	男子水泳	1	未定
	女子水泳	1	未定
	ハンドボール	1	未定
文化部	伝統文化等	15	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無いが、引き続き、文化連盟、邦楽協会、茶道協会、華道協会と緊密に連携を図る。
	コンピュータ	7	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	科学 等	7	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	手芸 等	5	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	吹奏楽 等	15	令和6年度、市内中学校の現状のヒアリングを一部顧問に対して行った。令和7年度についても地域クラブ活動推進に向けてヒアリングや協議・検討を行う。
	美術 等	15	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	総合学習	2	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	囲碁・将棋	4	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	演劇	2	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	英語部	1	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	書道	1	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。
	園芸	1	コンクール等特別な事情を除き、土日の活動は無し。

(令和6年度現在)

Ⅲ 地域クラブ活動推進に向けた市の取組

1 関係者間の連携体制の構築等

越谷市教育委員会の関係課所及び市長部局の関係課所、本市の地域スポーツに関わる関係団体、本市の文化芸術に関わる関係団体、学校及び保護者等の関係者からなる推進会議において、定期的・恒常的な情報共有・連絡調整を通して連携体制を構築するとともに、関係者からの意見や学校や関係団体を通じた生徒や地域人材等へのアンケートなどを活用し、関係者間で緊密に連携して地域クラブ活動の推進に取り組みます。

2 関係団体等との連携

地域クラブ活動を推進するに当たり、大きな役割を果たすことが期待されるスポーツ・文化芸術団体や大学等の協力を得るため、定期的・恒常的な情報共有・連絡調整を行い、緊密に連携し、以下の取組を行ってまいります。

(1) スポーツ・文化芸術団体や大学等との連携

スポーツ・文化芸術団体や大学等と連携し、協力を得ながら、地域クラブ活動の実施主体や指導者の確保及び関係者の理解促進等について取り組むとともに、効果的な支援について検討します。

(2) 大会等主催団体との連携

中学校の生徒を対象とする大会等の主催団体と連携し、相互の情報を共有し、各学校に情報提供できるような体制を整えてまいります。また、新たに民間団体等によって、スポーツ大会や文化的イベント等が企画される場合は、内容を踏まえ、情報提供を行います。

3 市民・関係者等の理解促進

生徒・保護者はもとより、スポーツ・文化芸術団体等の関係者や市民の理解と協力の下で、地域クラブ活動を行う環境を整備するため、ホームページやSNS等の活用をはじめとする様々な手段と機会により、積極的に情報を発信するなどの取組を行います。市民や関係者等を対象とする地域ミーティングにより、地域クラブ活動の概要説明、本市における取組の紹介、有識者等による講演、参会者との意見交換等を実施してまいります。

4 指導者の質の保障と量の確保

生徒にとってふさわしいスポーツ・文化芸術環境を整備するために、専門性や資質・能力を有する指導者の確保に取り組みます。

適切な指導の実施に向けては、参加者の心身の健康管理、事故防止を徹底し、体罰・ハラスメントを防止するため、指導者の研修機会等を提供するとともに、適宜、地域クラブの運営団体や実施主体等に対し指導助言を行ってまいります。

また、スポーツ・文化芸術団体等の協力を得ながら、指導者の発掘・把握に努めるとともに、指導者人材バンクを周知するなど、地域クラブ活動における指導者の確保に向けて、以下の取組を行ってまいります。

(1) 指導者向け研修機会等の提供

関係団体等とも連携し、指導者の資質向上を図るための体罰防止等のコンプライアンスに係る研修の機会等を設けます。

(2) 指導者人材バンク等の周知

退職教師等を活用した広域にわたる指導者人材バンクを周知するなど、地域クラブ活動の運営団体・実施主体による指導者の配置を支援します。

5 教師等の兼職・兼業

越谷市教育委員会では、希望する教師等が地域クラブ活動での指導を行うための兼職・兼業に係る基準や手続等について、関係法令及び国・県の通知に基づき、職責遂行に支障を及ぼすおそれがある場合等を除き、兼職・兼業について適切に承認・許可することとしています。

越谷市教育委員会では、地域クラブでの指導を希望する教師等が地域クラブ活動において適切に従事できるよう国・県が示す教師等の兼職・兼業の取扱い等について、運営団体・実施主体に周知してまいります。